

## 将棋を指してみませんか・・・

(9) 昨年9月に発足しました将棋愛好会です。

将棋盤のマス目に因んだ話をしますと、「数え81歳を将棋界では何と云うでしょう」・・・  
将棋盤のマス目(9×9)の数から「盤寿」と言うそうです。

☆ 玉は角筋を避けよ・・・玉が角筋に入ると非常に危険である。

☆ 序盤は、飛車より角が主役・・・序盤の駒組みは角が主役と言われる。

(10) 将棋界では、通算勝数が1000勝を超えると、将棋特別栄誉賞が与えられるそうです。  
現在までにその対象者となつた棋士は・・・

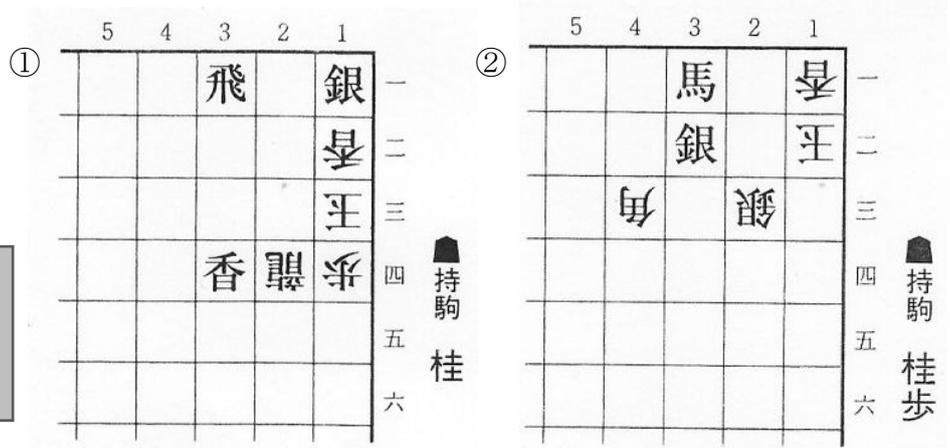
- |        |       |        |       |         |       |
|--------|-------|--------|-------|---------|-------|
| ① 大山康晴 | 1433勝 | ② 中原 誠 | 1308勝 | ③ 加藤一二三 | 1306勝 |
| ④ 谷川浩司 | 1210勝 | ⑤ 羽生善治 | 1177勝 | ⑥ 内藤国雄  | 1121勝 |
| ⑦ 米長邦雄 | 1103勝 | ⑧ 有吉道夫 | 1088勝 | 計 8棋士   | です。   |

大山康晴は、54歳で1000勝達成、69歳でこの世を去るまでに、さらに433勝という大記録を達成しました。(平成24年版将棋年鑑 から)

<詰め将棋>

答は、欄外にあります

この「将棋を指してみませんか」は、10回にわたり、野村隆一さんを書いて頂きました。



### 《雑記帳》

#### 会社の先輩から学んだ一言

会社の先輩と言っても勿論当時ははるか上長ですが、昭和50年代終盤(1975年頃)某全国紙の群馬版に「私のコラム」という紙面が連載でありました。その先輩の題名は「一つの人生を生きること」というもので、そのあるときのスクラップを今でも大切に保存していますが、  
当時をフツ・・・と思い出して、みなさんに紹介してみたくなりました。ご覧下さい。

##### 1. 最も大切な「誠実」

世の中には沢山の名言、名句があるが、人それぞれ生き様や考え方、好みが違うため押し付けは出来ない。これまでの会社生活を振り返ってみると最も大切なことは「誠実」の一語につきる。これが一切のベースであり熱意や能力はその上に構成されねばならない。

##### 2. 「心もやす」好きな人

私の好きな人とは「心もやす人」であり、嫌いな人は「シラケた人種」である。心もやすとは、対象が何であれ世の中を受身でなく積極的に生きることである。これが生き方の原点であるとする。趣味でも、恋でも、仕事でも、熱中できることが大切で、1+1=3、無から有を生む創造が出来る。

(私は 以上の2つの言葉が大変好きで、今までも、これからも出来る限り実践して自分として生き甲斐のある人生にしてゆきたいと願っている一人です。)

( 二宮 )

- (詰将棋の答) ① 2五桂・同龍 3三飛成 2三金 2二銀不成 5手詰め  
② 2四桂・同銀 1三步 同銀 2一馬 まで 5手詰め